

当連結会計年度の業績

当連結会計年度（2025年4月1日から2026年3月31日まで）

当連結会計年度のわが国経済は、米国の関税政策による影響が懸念される中、緩やかな持ち直しの動きが続きました。家計部門では、3年連続で5%台の高水準の賃上げが実現したことに加え、物価上昇率の鈍化により実質賃金が下げ止まりの兆しを見せ、個人消費は底堅く推移しました。企業部門においては、人手不足の深刻化を背景に省力化・デジタル化投資への意欲が高く、設備投資は緩やかに増加しました。また、インバウンド消費が好調を維持し、景気を下支えました。一方、中東情勢の緊迫化がエネルギー価格や供給網に与える影響については、今後の動向に注視が必要です。

金融市場では、日本銀行が政策金利の段階的な引き上げを継続し、金融政策の正常化が一層進みました。こうした動きを受けて、長期金利は緩やかな上昇基調が続きました。

地元香川県においては、物価上昇の影響が和らぐ中、百貨店・スーパーの売上堅調などを背景に個人消費が底堅く推移したほか、香川県立アリーナのオープンや瀬戸内国際芸術祭開催の効果により観光関連消費も回復傾向を維持し、景気が緩やかに持ち直しました。企業の生産活動は、関税の影響により輸送機械の一部に慎重な動きが見られたものの、食料品が横ばいで推移し、化学が持ち直しつつあるなど、全体としては回復基調が続きました。

○総預金・預り資産……当連結会計年度末の総預金残高は、個人及び公共預金が減少しましたが、法人預金が増加したことにより、前連結会計年度末比1,644億円増加して4兆8,595億円となりました。

また、当連結会計年度末の預り資産残高は、投資信託、一時払保険及び金融商品仲介がいずれも増加したことにより、前連結会計年度末比588億円増加して4,358億円となりました。

○貸出金……当連結会計年度末の貸出金残高は、公共向け貸出金が減少しましたが、法人向け及び個人向け貸出金が増加したことにより、前連結会計年度末比1,820億円増加して3兆6,887億円となりました。

○有価証券……当連結会計年度末の有価証券残高は、株式が増加しましたが、債券及びその他の証券が減少したことにより、前連結会計年度末比1,347億円減少して1兆551億円となりました。

○損益

（経常収益）

当連結会計年度の経常収益は、貸出金利息及び有価証券利息配当金の増加による資金運用収益の増加や、株式等売却益の増加によるその他経常収益の増加などにより、前連結会計年度比185億49百万円増加して1,085億56百万円となりました。

（連結粗利益）

当連結会計年度の連結粗利益は、その他業務利益が減少しましたが、資金利益及び役務取引等利益の増加などにより、前連結会計年度比98億48百万円増加して577億56百万円となりました。

（経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益）

当連結会計年度の経常利益は、連結粗利益の増加及び株式関係損益の増加などにより、前連結会計年度比92億25百万円増加して291億35百万円となりました。また、親会社株主に帰属する当期純利益は、前連結会計年度比51億57百万円増加して188億57百万円となりました。

業績の推移（財務ハイライト）

連結ベース

（単位：百万円）

| 項 目                                     | 2022年3月期  | 2023年3月期  | 2024年3月期  | 2025年3月期  | 2026年3月期  |
|-----------------------------------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 連結経常収益                                  | 73,092    | 84,888    | 82,146    | 90,007    | 108,556   |
| 連結経常利益                                  | 15,187    | 13,295    | 14,557    | 19,910    | 29,135    |
| 親会社株主に帰属する当期純利益                         | 11,702    | 9,172     | 9,642     | 13,700    | 18,857    |
| 連結包括利益                                  | △ 5,504   | △ 70      | 50,978    | 2,823     | 62,697    |
| 連結純資産額                                  | 284,336   | 281,098   | 329,186   | 328,273   | 384,426   |
| 連結総資産額                                  | 5,747,266 | 5,809,359 | 5,840,650 | 5,753,583 | 5,845,803 |
| 1株当たり純資産額 <small>(注) 1.</small>         | 2,409円99銭 | 2,429円83銭 | 2,881円76銭 | 2,887円58銭 | 3,399円29銭 |
| 1株当たり当期純利益 <small>(注) 1.</small>        | 99円20銭    | 78円89銭    | 84円05銭    | 120円30銭   | 166円07銭   |
| 潜在株式調整後1株当たり当期純利益 <small>(注) 1.</small> | 99円18銭    | 78円87銭    | 84円03銭    | 120円29銭   | 166円06銭   |
| 連結自己資本比率                                | 4.06%     | 3.24%     | 3.16%     | 4.16%     | 5.29%     |
| 連結株価収益率                                 | 4.18倍     | 5.82倍     | 8.85倍     | 7.22倍     | 12.57倍    |
| 従業員数 <small>(注) 2.</small>              | 2,235人    | 2,179人    | 2,147人    | 2,125人    | 2,107人    |
| 連結自己資本比率 <small>(注) 3.</small>          | 9.34%     | 9.10%     | 9.12%     | 9.33%     | 10.41%    |

（注）1. 1株当たり純資産額は期末株式数により、1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益は期中平均株式数により算出しております。当行は2026年4月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行い、当該株式分割が2022年3月期の期首に行われたものと仮定して算定しております。

2. 従業員数は就業人員であります。また、嘱託及び臨時従業員数は含まれておりません。

3. 連結自己資本比率は、銀行法第14条の2の規定に基づく2006年金融庁告示第19号に定められた算式に基づき算出しております。当行は国内基準を適用しており、バーゼルⅢ基準にて自己資本比率を算出しております。なお、2026年3月期より信用リスク・アセットの算出方法を標準的手法から基礎的内部格付手法に変更しております。また、オペレーショナル・リスク相当額の算出においては、2024年3月期以前については粗利益配分手法を、2025年3月期からは標準的計測手法を採用しております。

# 連結財務諸表

## 連結貸借対照表（資産の部）

(単位：百万円)

| 区 分            | 前連結会計年度（2025年3月31日） | 当連結会計年度（2026年3月31日） |
|----------------|---------------------|---------------------|
| 現金預け金          | 861,929             | 919,077             |
| コールローン及び買入手形   | 1,644               | 3,757               |
| 買入金銭債権         | 25,488              | 12,947              |
| 有価証券 ※1.2.4.9. | 1,189,932           | 1,055,179           |
| 貸出金 ※2.3.4.5.  | 3,506,645           | 3,688,724           |
| 外国為替 ※2.       | 4,373               | 4,553               |
| リース債権及びリース投資資産 | 20,665              | 24,811              |
| その他資産 ※2.4.    | 64,452              | 36,791              |
| 有形固定資産 ※6.7.8. | 37,520              | 37,733              |
| 建物             | 8,921               | 9,131               |
| 土地             | 24,860              | 24,491              |
| 建設仮勘定          | 272                 | 801                 |
| その他の有形固定資産     | 3,465               | 3,309               |
| 無形固定資産         | 5,407               | 6,326               |
| ソフトウェア         | 3,577               | 3,716               |
| その他の無形固定資産     | 1,829               | 2,609               |
| 退職給付に係る資産      | 35,377              | 57,893              |
| 繰延税金資産         | 732                 | 796                 |
| 支払承諾見返 ※2.     | 17,702              | 19,699              |
| 貸倒引当金          | △ 18,289            | △ 22,488            |
| 資産の部合計         | 5,753,583           | 5,845,803           |

## （負債及び純資産の部）

(単位：百万円)

| 区 分              | 前連結会計年度（2025年3月31日） | 当連結会計年度（2026年3月31日） |
|------------------|---------------------|---------------------|
| 預金 ※4.           | 4,572,471           | 4,744,569           |
| 譲渡性預金            | 122,569             | 114,952             |
| コールマネー及び売渡手形     | 8,286               | 4,114               |
| 借入金 ※4.          | 613,505             | 469,761             |
| 外国為替             | 181                 | 142                 |
| その他負債            | 66,679              | 64,074              |
| 役員賞与引当金          | 70                  | 84                  |
| 退職給付に係る負債        | 275                 | 272                 |
| 役員退職慰労引当金        | 34                  | 48                  |
| 睡眠預金払戻損失引当金      | 174                 | 148                 |
| 偶発損失引当金          | 156                 | 163                 |
| 株式報酬引当金          | 216                 | 201                 |
| 繰延税金負債           | 17,865              | 38,144              |
| 再評価に係る繰延税金負債 ※6. | 5,118               | 4,999               |
| 支払承諾             | 17,702              | 19,699              |
| 負債の部合計           | 5,425,309           | 5,461,377           |
| 資本金              | 37,322              | 37,322              |
| 資本剰余金            | 30,486              | 30,486              |
| 利益剰余金            | 204,899             | 218,507             |
| 自己株式             | △ 565               | △ 1,603             |
| 株主資本合計           | 272,143             | 284,713             |
| その他の有価証券評価差額金    | 35,766              | 65,989              |
| 繰延ヘッジ損益          | △ 16                | △ 77                |
| 土地再評価差額金 ※6.     | 7,593               | 7,336               |
| 退職給付に係る調整累計額     | 12,778              | 26,456              |
| その他の包括利益累計額合計    | 56,121              | 99,704              |
| 新株予約権            | 8                   | 8                   |
| 純資産の部合計          | 328,273             | 384,426             |
| 負債及び純資産の部合計      | 5,753,583           | 5,845,803           |

## 連結損益計算書

(単位：百万円)

| 区 分              | 前連結会計年度（2024年4月1日から2025年3月31日まで） | 当連結会計年度（2025年4月1日から2026年3月31日まで） |
|------------------|----------------------------------|----------------------------------|
| 経常収益             | 90,007                           | 108,556                          |
| 資金運用収益           | 56,019                           | 68,090                           |
| 貸出金利息            | 41,015                           | 46,075                           |
| 有価証券利息配当金        | 12,186                           | 15,915                           |
| コールローン利息及び買入手形利息 | 141                              | 153                              |
| 預け金利息            | 2,393                            | 4,793                            |
| その他の受入利息         | 282                              | 1,152                            |
| 信託報酬             | 1                                | 1                                |
| 役務取引等収益          | 12,684                           | 13,847                           |
| その他業務収益          | 5,503                            | 5,851                            |
| その他経常収益          | 15,798                           | 20,765                           |
| 償却債権取立益          | 496                              | 631                              |
| その他の経常収益 ※1.     | 15,302                           | 20,134                           |
| 経常費用             | 70,096                           | 79,420                           |
| 資金調達費用           | 14,233                           | 17,080                           |
| 預金利息             | 6,554                            | 11,936                           |
| 譲渡性預金利息          | 107                              | 802                              |
| コールマネー利息及び売渡手形利息 | 446                              | 71                               |
| 債券貸借取引支払利息       | 100                              | 256                              |
| 借入金利息            | 1,233                            | 1,004                            |
| その他の支払利息         | 5,791                            | 3,008                            |
| 役務取引等費用          | 3,732                            | 3,642                            |
| その他業務費用          | 8,333                            | 9,311                            |
| 営業経費 ※2.         | 33,337                           | 35,477                           |
| その他経常費用          | 10,458                           | 13,908                           |
| 貸倒引当金繰入額         | 2,045                            | 6,232                            |
| その他の経常費用 ※3.     | 8,413                            | 7,676                            |
| 経常利益             | 19,910                           | 29,135                           |
| 特別利益             | 91                               | 69                               |
| 固定資産処分益          | 21                               | 69                               |
| 国庫補助金受贈益         | 69                               | —                                |
| 特別損失             | 464                              | 474                              |
| 固定資産処分損          | 136                              | 187                              |
| 減損損失 ※4.         | 259                              | 286                              |
| 固定資産圧縮損          | 69                               | —                                |
| 税金等調整前当期純利益      | 19,537                           | 28,731                           |
| 法人税、住民税及び事業税     | 5,700                            | 9,752                            |
| 法人税等調整額          | 136                              | 120                              |
| 法人税等合計           | 5,836                            | 9,873                            |
| 当期純利益            | 13,700                           | 18,857                           |
| 親会社株主に帰属する当期純利益  | 13,700                           | 18,857                           |

## 連結包括利益計算書

(単位：百万円)

| 区 分          | 前連結会計年度（2024年4月1日から2025年3月31日まで） | 当連結会計年度（2025年4月1日から2026年3月31日まで） |
|--------------|----------------------------------|----------------------------------|
| 当期純利益        | 13,700                           | 18,857                           |
| その他の包括利益 ※1. | △ 10,876                         | 43,839                           |
| その他有価証券評価差額金 | △ 14,008                         | 30,222                           |
| 繰延ヘッジ損益      | △ 5                              | △ 61                             |
| 土地再評価差額金     | △ 147                            | —                                |
| 退職給付に係る調整額   | 3,283                            | 13,678                           |
| 包括利益         | 2,823                            | 62,697                           |
| (内訳)         |                                  |                                  |
| 親会社株主に係る包括利益 | 2,823                            | 62,697                           |

連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度（2024年4月1日から2025年3月31日まで）

(単位：百万円)

|                     | 株主資本   |        |         |       |         |
|---------------------|--------|--------|---------|-------|---------|
|                     | 資本金    | 資本剰余金  | 利益剰余金   | 自己株式  | 株主資本合計  |
| 当期首残高               | 37,322 | 30,486 | 194,802 | △ 569 | 262,041 |
| 当期変動額               |        |        |         |       |         |
| 剰余金の配当              |        |        | △ 3,289 |       | △ 3,289 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益     |        |        | 13,700  |       | 13,700  |
| 自己株式の取得             |        |        |         | △ 504 | △ 504   |
| 自己株式の処分             |        | 3      |         | 66    | 70      |
| 自己株式の消却             |        | △ 441  |         | 441   | —       |
| 利益剰余金から資本剰余金への振替    |        | 438    | △ 438   |       | —       |
| 土地再評価差額金の取崩         |        |        | 124     |       | 124     |
| 株主資本以外の項目の当期変動額（純額） |        |        |         |       |         |
| 当期変動額合計             | —      | —      | 10,097  | 4     | 10,101  |
| 当期末残高               | 37,322 | 30,486 | 204,899 | △ 565 | 272,143 |

|                     | その他の包括利益累計額          |             |              |                      |                       | 新株予約権 | 純資産合計    |
|---------------------|----------------------|-------------|--------------|----------------------|-----------------------|-------|----------|
|                     | その他<br>有価証券<br>評価差額金 | 繰延<br>ヘッジ損益 | 土地再評価<br>差額金 | 退職給付<br>に係る<br>調整累計額 | その他の<br>包括利益<br>累計額合計 |       |          |
| 当期首残高               | 49,774               | △ 11        | 7,865        | 9,494                | 67,123                | 21    | 329,186  |
| 当期変動額               |                      |             |              |                      |                       |       |          |
| 剰余金の配当              |                      |             |              |                      |                       |       | △ 3,289  |
| 親会社株主に帰属する当期純利益     |                      |             |              |                      |                       |       | 13,700   |
| 自己株式の取得             |                      |             |              |                      |                       |       | △ 504    |
| 自己株式の処分             |                      |             |              |                      |                       |       | 70       |
| 自己株式の消却             |                      |             |              |                      |                       |       | —        |
| 利益剰余金から資本剰余金への振替    |                      |             |              |                      |                       |       | —        |
| 土地再評価差額金の取崩         |                      |             |              |                      |                       |       | 124      |
| 株主資本以外の項目の当期変動額（純額） | △ 14,008             | △ 5         | △ 271        | 3,283                | △ 11,001              | △ 12  | △ 11,014 |
| 当期変動額合計             | △ 14,008             | △ 5         | △ 271        | 3,283                | △ 11,001              | △ 12  | △ 912    |
| 当期末残高               | 35,766               | △ 16        | 7,593        | 12,778               | 56,121                | 8     | 328,273  |

当連結会計年度（2025年4月1日から2026年3月31日まで）

（単位：百万円）

|                         | 株主資本   |        |         |         |         |
|-------------------------|--------|--------|---------|---------|---------|
|                         | 資本金    | 資本剰余金  | 利益剰余金   | 自己株式    | 株主資本合計  |
| 当期首残高                   | 37,322 | 30,486 | 204,899 | △ 565   | 272,143 |
| 当期変動額                   |        |        |         |         |         |
| 剰余金の配当                  |        |        | △ 5,506 |         | △ 5,506 |
| 親会社株主に帰属<br>する当期純利益     |        |        | 18,857  |         | 18,857  |
| 自己株式の取得                 |        |        |         | △ 1,110 | △ 1,110 |
| 自己株式の処分                 |        |        |         | 72      | 72      |
| 自己株式の消却                 |        |        |         |         | —       |
| 利益剰余金から<br>資本剰余金への振替    |        |        |         |         | —       |
| 土地再評価<br>差額金の取崩         |        |        | 257     |         | 257     |
| 株主資本以外の項目<br>の当期変動額（純額） |        |        |         |         |         |
| 当期変動額合計                 | —      | —      | 13,608  | △ 1,038 | 12,569  |
| 当期末残高                   | 37,322 | 30,486 | 218,507 | △ 1,603 | 284,713 |

|                         | その他の包括利益累計額          |             |              |                      |                       | 新株予約権 | 純資産合計   |
|-------------------------|----------------------|-------------|--------------|----------------------|-----------------------|-------|---------|
|                         | その他<br>有価証券<br>評価差額金 | 繰延<br>ヘッジ損益 | 土地再評価<br>差額金 | 退職給付<br>に係る<br>調整累計額 | その他の<br>包括利益<br>累計額合計 |       |         |
| 当期首残高                   | 35,766               | △ 16        | 7,593        | 12,778               | 56,121                | 8     | 328,273 |
| 当期変動額                   |                      |             |              |                      |                       |       |         |
| 剰余金の配当                  |                      |             |              |                      |                       |       | △ 5,506 |
| 親会社株主に帰属<br>する当期純利益     |                      |             |              |                      |                       |       | 18,857  |
| 自己株式の取得                 |                      |             |              |                      |                       |       | △ 1,110 |
| 自己株式の処分                 |                      |             |              |                      |                       |       | 72      |
| 自己株式の消却                 |                      |             |              |                      |                       |       | —       |
| 利益剰余金から<br>資本剰余金への振替    |                      |             |              |                      |                       |       | —       |
| 土地再評価<br>差額金の取崩         |                      |             |              |                      |                       |       | 257     |
| 株主資本以外の項目<br>の当期変動額（純額） | 30,222               | △ 61        | △ 257        | 13,678               | 43,582                | —     | 43,582  |
| 当期変動額合計                 | 30,222               | △ 61        | △ 257        | 13,678               | 43,582                | —     | 56,152  |
| 当期末残高                   | 65,989               | △ 77        | 7,336        | 26,456               | 99,704                | 8     | 384,426 |

# 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

| 区 分                        | 前連結会計年度 (2024年4月1日から2025年3月31日まで) | 当連結会計年度 (2025年4月1日から2026年3月31日まで) |
|----------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー           |                                   |                                   |
| 税金等調整前当期純利益                | 19,537                            | 28,731                            |
| 減価償却費                      | 2,936                             | 3,185                             |
| 減損損失                       | 259                               | 286                               |
| 貸倒引当金の増減 (△)               | 991                               | 4,198                             |
| 役員賞与引当金の増減額 (△は減少)         | 11                                | 14                                |
| 退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)       | △ 3,211                           | △ 2,605                           |
| 退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)       | 5                                 | 3                                 |
| 役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)       | △ 7                               | 14                                |
| 睡眠預金払戻損失引当金の増減 (△)         | 56                                | △ 25                              |
| 偶発損失引当金の増減額 (△は減少)         | 35                                | 6                                 |
| 株式報酬引当金の増減額 (△は減少)         | △ 0                               | △ 14                              |
| 資金運用収益                     | △ 56,019                          | △ 68,090                          |
| 資金調達費用                     | 14,233                            | 17,080                            |
| 有価証券関係損益 (△)               | 702                               | △ 2,396                           |
| 為替差損益 (△は益)                | △ 237                             | △ 11,365                          |
| 固定資産処分損益 (△は益)             | △ 133                             | △ 137                             |
| 貸出金の純増 (△) 減               | △ 78,282                          | △ 182,079                         |
| 預金の純増減 (△)                 | △ 104,485                         | 172,097                           |
| 譲渡性預金の純増減 (△)              | 49,890                            | △ 7,616                           |
| 借入金 (劣後特約付借入金を除く) の純増減 (△) | △ 1,704                           | △ 143,744                         |
| 預け金 (日銀預け金を除く) の純増 (△) 減   | △ 9,946                           | △ 12,928                          |
| コールローン等の純増 (△) 減           | 19,355                            | 10,428                            |
| コールマネー等の純増減 (△)            | △ 7,386                           | △ 4,171                           |
| 外国為替 (資産) の純増 (△) 減        | 420                               | △ 179                             |
| 外国為替 (負債) の純増減 (△)         | 0                                 | △ 39                              |
| リース債権及びリース投資資産の純増 (△) 減    | △ 2,645                           | △ 4,146                           |
| 資金運用による収入                  | 56,366                            | 67,554                            |
| 資金調達による支出                  | △ 14,236                          | △ 15,589                          |
| その他                        | △ 12,100                          | 18,594                            |
| 小 計                        | △ 125,596                         | △ 132,941                         |
| 法人税等の支払額                   | △ 5,104                           | △ 7,125                           |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー           | △ 130,700                         | △ 140,067                         |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー           |                                   |                                   |
| 有価証券の取得による支出               | △ 299,297                         | △ 82,407                          |
| 有価証券の売却による収入               | 116,573                           | 140,614                           |
| 有価証券の償還による収入               | 92,544                            | 137,151                           |
| 有形固定資産の取得による支出             | △ 2,153                           | △ 2,497                           |
| 無形固定資産の取得による支出             | △ 2,005                           | △ 2,431                           |
| 有形固定資産の売却による収入             | 228                               | 421                               |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー           | △ 94,110                          | 190,850                           |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー           |                                   |                                   |
| 自己株式の取得による支出               | △ 504                             | △ 1,110                           |
| 自己株式の売却による収入               | 29                                | 44                                |
| 配当金の支払額                    | △ 3,289                           | △ 5,506                           |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー           | △ 3,764                           | △ 6,572                           |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額           | △ 2                               | 8                                 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)       | △ 228,578                         | 44,218                            |
| 現金及び現金同等物の期首残高             | 1,046,479                         | 817,900                           |
| 現金及び現金同等物の期末残高 ※1.         | 817,900                           | 862,119                           |



（連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項）

1. 連結の範囲に関する事項

- (1) 連結子会社 8社  
会社名  
日本橋不動産株式会社  
百十四ビジネスサービス株式会社  
株式会社百十四人材センター  
株式会社百十四システムサービス  
株式会社百十四ジェシービーカード  
株式会社百十四ディーシーカード  
百十四総合保証株式会社  
百十四リース株式会社
- (2) 非連結子会社 5社  
会社名  
HYAKUJUSHI BUSINESS CONSULTING VIETNAM COMPANY LIMITED  
百十四共創投資株式会社  
114事業承継・成長支援ファンド投資事業有限責任組合  
114地域みらいデザイン株式会社  
114GENNAIイノベーションファンド投資事業有限責任組合  
非連結子会社は、その資産、経常収益、当期純損益（持分に見合う額）、利益剰余金（持分に見合う額）及びその他の包括利益累計額（持分に見合う額）等からみて、連結の範囲から除いても企業集団の財政状態及び経営成績に関する合理的な判断を妨げない程度に重要性が乏しいため、連結の範囲から除外しております。  
（非連結子会社の設立）  
2025年4月1日付で、114地域みらいデザイン株式会社を設立いたしました。  
2025年10月1日付で、114GENNAIイノベーションファンド投資事業有限責任組合を設立いたしました。

2. 持分法の適用に関する事項

- (1) 持分法適用の非連結子会社  
該当ありません。
- (2) 持分法適用の関連会社  
該当ありません。
- (3) 持分法非適用の非連結子会社 5社  
会社名  
HYAKUJUSHI BUSINESS CONSULTING VIETNAM COMPANY LIMITED  
百十四共創投資株式会社  
114事業承継・成長支援ファンド投資事業有限責任組合  
114地域みらいデザイン株式会社  
114GENNAIイノベーションファンド投資事業有限責任組合
- (4) 持分法非適用の関連会社 2社  
会社名  
四国アライアンスキャピタル株式会社  
Shikokuブランド株式会社

持分法非適用の非連結子会社及び関連会社は、当期純損益（持分に見合う額）、利益剰余金（持分に見合う額）及びその他の包括利益累計額（持分に見合う額）等からみて、持分法の対象から除いても連結財務諸表に重要な影響を与えないため、持分法の対象から除いております。

3. 連結子会社の事業年度等に関する事項

連結子会社の決算日は、連結決算日と一致しております。

4. 会計方針に関する事項

- (1) 商品有価証券の評価基準及び評価方法  
商品有価証券の評価は、時価法（売却原価は移動平均法により算定）により行っております。
- (2) 有価証券の評価基準及び評価方法  
有価証券の評価は、満期保有目的の債券については移動平均法による償却原価法（定額法）、持分法非適用の非連結子会社株式及び持分法非適用の関連会社株式については移動平均法による原価法、その他有価証券については時価法（売却原価は移動平均法により算定）、ただし市場価格のない株式等については移動平均法による原価法により行っております。

なお、その他有価証券の評価差額については、全部純資産直入法により処理しております。

- (3) デリバティブ取引の評価基準及び評価方法  
デリバティブ取引の評価は、時価法により行っております。
- (4) 固定資産の減価償却の方法  
① 有形固定資産（リース資産を除く）  
当行の有形固定資産は、定率法（ただし、2016年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物については定額法）を採用しております。  
また、主な耐用年数は次のとおりであります。  
建 物：10年～50年  
その他：5年～15年  
連結子会社の有形固定資産については、資産の見積耐用年数に基づき、主として定率法により償却しております。  
② 無形固定資産（リース資産を除く）  
無形固定資産は、定額法により償却しております。なお、自社利用のソフトウェアについては、当行及び連結子会社で定める利用可能期間（主として5年）に基づいて償却しております。  
③ リース資産  
所有権移転外ファイナンス・リース取引に係る「有形固定資産」中のリース資産は、リース期間を耐用年数とし残存価額を零とする定額法により償却しております。

- (5) 貸倒引当金の計上基準  
当行の貸倒引当金は、予め定めている償却・引当基準に則り、次のとおり計上しております。

破産、特別清算等法的に経営破綻の事実が発生している債務者（以下「破綻先」という。）に係る債権及びそれと同等の状況にある債務者（以下「実質破綻先」という。）に係る債権については、以下のなお書きに記載されている直接減額後の帳簿価額から、担保の処分可能見込額及び保証による回収可能見込額を控除し、その残額を計上しております。また、現在は経営破綻の状況にないが、今後経営破綻に陥る可能性が大きいと認められる債務者（以下「破綻懸念先」という。）に係る債権については、債権額から、担保の処分可能見込額及び保証による回収可能見込額を控除し、その残額のうち、債務者の支払能力を総合的に判断し必要と認める額を計上しております。

上記以外の債権については、主として今後1年間の予想損失額又は今後3年間の予想損失額を見込んで計上しており、予想損失額は、1年間又は3年間の貸倒実績を基礎とした貸倒実績率の過去の一定期間における平均値に基づき損失率を求め、これに将来見込み等必要な修正を加えて算定しております。

すべての債権は、資産の自己査定基準に基づき、営業部店及び審査所管部署が資産査定を実施し、当該部署から独立した資産監査部署が査定結果を監査しております。

なお、破綻先及び実質破綻先に対する担保・保証付債権等については、債権額から担保の評価額及び保証による回収が可能と認められる額を控除した残額を取立不能見込額として債権額から直接減額しており、その金額は9,845百万円であります。

連結子会社の貸倒引当金は、一般債権については過去の貸倒実績率等を勘案して必要と認めた額を、貸倒懸念債権等特定の債権については、個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額をそれぞれ計上しております。

- (6) 役員賞与引当金の計上基準  
役員賞与引当金は、役員への賞与の支払いに備えるため、役員に対する賞与の支給見込額のうち、当連結会計年度に帰属する額を計上しております。
- (7) 役員退職慰労引当金の計上基準  
役員退職慰労引当金は、連結子会社において、役員への退職慰労金の支払いに備えるため、役員に対する退職慰労金の支給見積額のうち、当連結会計年度末までに発生していると認められる額を計上しております。

(8) 睡眠預金払戻損失引当金の計上基準

睡眠預金払戻損失引当金は、負債計上を中止した預金について、預金者からの払戻請求に備えるため、将来の払戻請求に応じて発生する損失を見積り必要と認める額を計上しております。

(9) 偶発損失引当金の計上基準

偶発損失引当金は、他の引当金で引当対象とした事象以外の偶発事象に対し、将来発生する可能性のある損失を見積り必要と認める額を計上しております。

(10) 株式報酬引当金の計上基準

株式報酬引当金は、役員報酬 B I P 信託による当行株式の交付に備えるため、株式交付規定に基づき、役員に割り当てられたポイントに応じた株式の給付見込額を計上しております。

(11) 退職給付に係る会計処理の方法

退職給付債務の算定に当たり、退職給付見込額を当連結会計年度末までの期間に帰属させる方法については給付算定式基準によっております。また、過去勤務費用及び数理計算上の差異の損益処理方法は次のとおりであります。

過去勤務費用：各発生時に全額損益処理

数理計算上の差異：各連結会計年度の発生時の従業員の平均残存勤務期間内の一定の年数（10年）による定額法により按分した額を、それぞれ発生翌連結会計年度から損益処理

なお、連結子会社は、退職給付に係る負債及び退職給付費用の計算に、退職給付に係る当連結会計年度末の自己都合要支給額を退職給付債務とする方法を用いた簡便法を適用しております。

(12) 重要な収益及び費用の計上基準

① ファイナンス・リース取引に係る収益及び費用の計上基準

リース料の受取時に「その他経常収益」及び「その他経常費用」を計上する方法によっております。

② 顧客との契約から生じる収益の計上基準

顧客との契約から生じる収益は、預金・貸出業務、為替業務及び証券関連業務等の金融サービスに係る役務提供により計上される収益であり、当該役務提供により約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識しております。

(13) 外貨建の資産及び負債の本邦通貨への換算基準

当行の外貨建資産・負債は、主として連結決算日の為替相場による円換算額を付しております。なお、その他有価証券（債券）の換算差額については、為替による影響も含めてその他有価証券評価差額金として処理しております。

(14) 重要なヘッジ会計の方法

為替変動リスク・ヘッジ

当行の外貨建金融資産から生じる為替変動リスクに対するヘッジ会計の方法は、「銀行業における外貨建取引等の会計処理に関する会計上及び監査上の取扱い」（日本公認会計士協会業種別委員会実務指針第25号 2020年10月8日。以下「業種別委員会実務指針第25号」という。）に規定する繰延ヘッジによっております。

ヘッジ有効性評価の方法については、外貨建金銭債権等の為替変動リスクを減殺する目的で行う通貨スワップ取引及び為替スワップ取引等をヘッジ手段とし、ヘッジ対象である外貨建金銭債権等（外国証券及び外貨貸出）に見合うヘッジ手段の外貨ポジション相当額が存在することを確認することによりヘッジの有効性を評価しております。

(15) 連結キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲

連結キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲は、連結貸借対照表上の「現金預け金」のうち現金及び日本銀行への預け金であります。

(16) その他採用した重要な会計方針

投資信託（除く E T F ）の解約・償還に伴う差損益について、投資信託全体で益の場合は「有価証券利息配当金」に計上し、損の場合は「その他業務費用」の「国債等債券償還損」に計上しております。

当連結会計年度は、「有価証券利息配当金」に投資信託の解約・償還益4,561百万円を計上しております。

(重要な会計上の見積り)

(貸倒引当金)

(1) 当連結会計年度の連結財務諸表に計上した金額

貸倒引当金 22,488百万円

(2) 識別した項目に係る重要な会計上の見積りの内容に関する情報

① 算出方法

貸出金等の回収可能性は、主として国内外の景気動向、地元香川県を中心に広域店舗網が存在する地域で事業を営む債務者の経営状況及び担保不動産の下落等により変動します。そのため、債務者区分ごとに将来の貸倒れによる予想損失額を算出し、貸倒引当金として計上しております。

貸倒引当金の算出方法は、「注記事項（連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項）4.会計方針に関する事項（5）貸倒引当金の計上基準」に記載しております。

② 主要な仮定

貸倒引当金の算出における主要な仮定は、「債務者区分の判定における債務者ごとの将来の業績見通し」であります。

「債務者区分の判定における債務者ごとの将来の業績見通し」は、物価高・資源高の影響や地域経済の状況の変化等を踏まえ、債務者の財務内容、返済能力等を評価しております。また、これに加え、債務者ごとの経営改善計画等の進捗状況等に基づく債務返済能力を個別に評価しております。

③ 翌連結会計年度の連結財務諸表に与える影響

上記「②主要な仮定」は債務者を取り巻く経営環境の変化や事業戦略の成否等によって影響を受けることによるため不確実性を伴います。したがって、当初の見積りに用いた仮定の変化により、想定していなかった大口債務者の業績悪化等が生じた場合は、翌連結会計年度に係る連結財務諸表における貸倒引当金に重要な影響を及ぼす可能性があります。

(未適用の会計基準等)

(リースに関する会計基準等)

・「リースに関する会計基準」（企業会計基準第34号 2024年9月13日）

・「リースに関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第33号 2024年9月13日）ほか、関連する企業会計基準、企業会計基準適用指針、実務対応報告及び移行指針の改正

(1) 概要

国際的な会計基準と同様に、借手のすべてのリースについて資産・負債を計上する等の取扱いを定めるものであります。

(2) 適用予定日

2028年3月期の期首より適用予定であります。



- (3) 当該会計基準等の適用による影響  
「リースに関する会計基準」等の適用による連結財務諸表に与える影響額については、現時点で評価中であります。

## (追加情報)

### (役員報酬 B I P 信託)

当行は、当行の取締役（監査等委員である取締役、社外取締役及び国内非居住者を除く。以下「当行取締役」という。）を対象とした、役員報酬 B I P 信託を導入しております。

#### 1. 取引の概要

役員報酬 B I P 信託は、中長期的な業績向上と企業価値増大への貢献意欲を高めることを目的とした役員インセンティブ・プランであり、役位や業績目標の達成度等に応じたポイントが当行取締役に付与され、そのポイントに応じた当行株式及び当行株式の換価処分金相当額の金銭が当行取締役の退任時に交付又は給付される株式報酬型の役員報酬であります。

#### 2. 信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する会計処理

当該信託契約に係る会計処理については、「従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第30号 2015年3月26日）に準じております。

#### 3. 信託が保有する自社の株式に関する事項

- (1) 信託における帳簿価額は、当連結会計年度末220百万円であります。
- (2) 信託が保有する自社の株式は株主資本において自己株式として計上しております。
- (3) 期末株式数は、当連結会計年度末334千株であります。  
期中平均株式数は、当連結会計年度367千株であります。
- (4) 上記 (3) の期末株式数及び期中平均株式数は、1株当たり情報の算出上、控除する自己株式に含めております。
- (5) 2026年4月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。  
上記 (3) の株式数については、当該株式分割を考慮した株式数を記載しております。

## (連結貸借対照表関係)

- ※1. 非連結子会社及び関連会社の株式又は出資金の総額  
株 式 236百万円  
出資金 1,041百万円
- ※2. 銀行法及び金融機能の再生のための緊急措置に関する法律に基づく債権は次のとおりであります。なお、債権は、連結貸借対照表の「有価証券」中の社債（その元本の償還及び利息の支払の全部又は一部について保証しているものであって、当該社債の発行が有価証券の私募（金融商品取引法第2条第3項）によるものに限る。）、貸出金、外国為替、「その他資産」中の未収利息及び仮払金並びに支払承諾見返の各勘定に計上されるもの並びに注記されている有価証券の貸付けを行っている場合のその有価証券（使用貸借又は賃貸借契約によるものに限る。）であります。
- |                    |              |
|--------------------|--------------|
| 破産更生債権及びこれらに準ずる債権額 | 4,801百万円     |
| 危険債権額              | 31,842百万円    |
| 要管理債権額             | 13,908百万円    |
| 三月以上延滞債権額          | 266百万円       |
| 貸出条件緩和債権額          | 13,641百万円    |
| 小計額                | 50,552百万円    |
| 正常債権額              | 3,675,695百万円 |
| 合計額                | 3,726,248百万円 |

破産更生債権及びこれらに準ずる債権とは、破産手続開始、更生手続開始、再生手続開始の申立て等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権であります。

危険債権とは、債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権で破産更生債権及びこれらに準ずる債権に該当しないものであります。

三月以上延滞債権とは、元本又は利息の支払が約定支払日の翌日から三月以上遅延している貸出金で破産更生債権及びこれらに準ずる債権並びに危険債権に該当しないものであります。

貸出条件緩和債権とは、債務者の経営再建又は支援を図ることを目的として、金利の減免、利息の支払猶予、元本の返済猶予、債権放棄その他の債務者に有利となる取決めを行った貸出金で破産更生債権及びこれらに準ずる債権、危険債権並びに三月以上延滞債権に該当しないものであります。

正常債権とは、債務者の財政状態及び経営成績に特に問題がないものとして、破産更生債権及びこれらに準ずる債権、危険債権、三月以上延滞債権並びに貸出条件緩和債権以外のものに区分される債権であります。

なお、上記債権額は、貸倒引当金控除前の金額であります。

- ※3. 手形割引は、「銀行業における金融商品会計基準適用に関する会計上及び監査上の取扱い」（日本公認会計士協会業種別委員会実務指針第24号 2022年3月17日）に基づき金融取引として処理しております。これにより受け入れた商業手形及び買入外国為替等は、売却又は(再)担保という方法で自由に処分できる権利を有しておりますが、その額面金額は次のとおりであります。

6,631百万円

- ※4. 担保に供している資産は次のとおりであります。

|            |            |
|------------|------------|
| 担保に供している資産 |            |
| 有価証券       | 401,000百万円 |
| 貸出金        | 98,024百万円  |
| その他資産（現金）  | 536百万円     |
| 計          | 499,561百万円 |

担保資産に対応する債務

|     |            |
|-----|------------|
| 預金  | 25,789百万円  |
| 借入金 | 445,313百万円 |

上記のほか、為替決済等の取引の担保あるいは先物取引証拠金等の代用として、次のものを差し入れております。

|                            |           |
|----------------------------|-----------|
| 有価証券                       | 39,516百万円 |
| また、その他資産には、以下のものが含まれております。 |           |
| 金融商品等差入担保金                 | 3,096百万円  |
| 保証金及び敷金                    | 1,042百万円  |

- ※5. 当座貸越契約及び貸付金に係るコミットメントライン契約は、顧客からの融資実行の申し出を受けた場合に、契約上規定された条件について違反がない限り、一定の限度額まで資金を貸付けることを約する契約であります。これらの契約に係る融資未実行残高は次のとおりであります。

|                                          |              |
|------------------------------------------|--------------|
| 融資未実行残高                                  | 1,008,821百万円 |
| うち原契約期間が1年以内のもの<br>（又は任意の時期に無条件で取消可能なもの） | 946,418百万円   |

なお、これらの契約の多くは、融資実行されずに終了するものであるため、融資未実行残高そのものが必ずしも当行及び連結子会社の将来のキャッシュ・フローに影響を与えるものではありません。これらの契約の多くには、金融情勢の変化、債権の保全及びその他相当の事由があるときは、当行及び連結子会社が実行申し込みを受けた融資の拒絶又は契約極度額の減額をすることができる旨の条項が付けられております。また、契約時において必要に応じて不動産・有価証券等の担保を徴求するほか、契約後も定期的に予め定めている行内（社内）手続に基づき顧客の業況等を把握し、必要に応じて契約の見直し、与信保全上の措置等を講じております。

- ※6. 土地の再評価に関する法律（1998年3月31日公布法律第34号）に基づき、当行の事業用の土地の再評価を行い、評価差額については、当該評価差額に係る税金相当額を「再評価に係る繰延税金負債」として負債の部に計上し、これを控除した金額を「土地再評価差額金」として純資産の部に計上しております。

再評価を行った年月日 1999年3月31日  
同法律第3条第3項に定める再評価の方法  
土地の再評価に関する法律施行令（1998年3月31日公布政令第119号）第2条第4号に定める地価税法（1991年法律第69号）第16条に規定する地価税の課税価格の計算の基礎となる土地の価額を算定するために国税庁長官が定めて公表した方法により算出した価額に基づいて、奥行価格補正等の合理的な調整を行って算出。  
同法律第10条に定める再評価を行った事業用の土地の連結会計年度末における時価の合計額と当該事業用の土地の再評価後の帳簿価額の合計額との差額

- 10,803百万円
- ※7. 有形固定資産の減価償却累計額  
減価償却累計額 39,483百万円
- ※8. 有形固定資産の圧縮記帳額  
圧縮記帳額 2,353百万円  
(当連結会計年度の圧縮記帳額) (一百万円)
- ※9. 「有価証券」中の社債のうち、有価証券の私募（金融商品取引法第2条第3項）による社債に対する保証債務の額 14,380百万円

#### （連結損益計算書関係）

- ※1. その他の経常収益には、次のものを含んでおります。  
株式等売却益 11,635百万円  
リース料収入 7,300百万円
- ※2. 営業経費には、次のものを含んでおります。  
給与・手当 14,837百万円  
事務委託費 3,741百万円
- ※3. その他の経常費用には、次のものを含んでおります。  
リース原価 5,893百万円  
貸出金償却 1,431百万円

#### ※4. 減損損失

以下の資産及び資産グループについては、営業キャッシュ・フローの低下及び地価の下落等により投資額の回収が見込めなくなったことに伴い、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額286百万円を減損損失として特別損失に計上しております。

| 場 所  | 主 な 用 途       | 種 類           | 減損損失  |        |
|------|---------------|---------------|-------|--------|
| 香川県内 | 営業用資産<br>2 か所 | 土地<br>及び建物    | (うち土地 | 167百万円 |
|      |               |               | (うち建物 | 154)   |
|      |               |               | (うち動産 | 13)    |
|      | 遊休資産<br>10か所  | 土地            | (うち土地 | 0百万円   |
|      |               |               | (うち建物 | 0)     |
|      |               |               | (うち動産 | ―)     |
| 香川県外 | 営業用資産<br>4 か所 | 土地、建物<br>及び動産 | (うち土地 | 118百万円 |
|      |               |               | (うち建物 | 95)    |
|      |               |               | (うち動産 | 22)    |
|      | 遊休資産<br>1 か所  | 土地            | (うち土地 | 0)     |
|      |               |               | (うち建物 | 0)     |
|      |               |               | (うち動産 | ―)     |
| 合 計  |               |               |       | 286百万円 |
|      |               |               | (うち土地 | 251)   |
|      |               |               | (うち建物 | 35)    |
|      |               |               | (うち動産 | 0)     |

当行は、営業用店舗については、営業店毎（複数店がエリア（地域）で一体となり営業を行っている場合は当該エリア毎）に継続的な収支の把握を行っていることから、営業店（又はエリア）をグルーピングの単位としております。遊休資産及び処分予定資産については、各々単独の資産又は資産グループとして取り扱っております。また、本店、事務センター、研修所、社宅、厚生施設等については、複数の資産又は資産グループの将来キャッシュ・フローの生成に寄与する資産であるため共用資産としております。

連結子会社については、各社の営業拠点毎に資産のグルーピングを行い、遊休資産は各々単独の資産又は資産グループとして取り扱っております。

減損損失の測定に使用した回収可能価額は、正味売却価額と使用価値のいずれが高い方としております。正味売却価額による場合は「不動産鑑定評価額」又は「地価税法第16条に規定する地価税の課税価格の計算の基礎となる土地の価額を算定するために国税庁長官が定めて公表した方法により算定した価額」より処分費用見込額を控除し算出しております。また、使用価値による場合は将来キャッシュ・フローを0.5%で割り引き算出しております。

### (連結包括利益計算書関係)

※1. その他の包括利益に係る組替調整額並びに法人税等及び税効果額

|              |            |
|--------------|------------|
| その他有価証券評価差額金 |            |
| 当期発生額        | 50,593百万円  |
| 組替調整額        | △6,601百万円  |
| 法人税等及び税効果調整前 | 43,992百万円  |
| 法人税等及び税効果額   | △13,769百万円 |
| その他有価証券評価差額金 | 30,222百万円  |
| 繰延ヘッジ損益      |            |
| 当期発生額        | △2,182百万円  |
| 組替調整額        | 2,093百万円   |
| 法人税等及び税効果調整前 | △89百万円     |
| 法人税等及び税効果額   | 27百万円      |
| 繰延ヘッジ損益      | △61百万円     |
| 退職給付に係る調整額   |            |
| 当期発生額        | 21,578百万円  |
| 組替調整額        | △1,668百万円  |
| 法人税等及び税効果調整前 | 19,909百万円  |
| 法人税等及び税効果額   | △6,231百万円  |
| 退職給付に係る調整額   | 13,678百万円  |
| その他の包括利益合計   | 43,839百万円  |

### (連結株主資本等変動計算書関係)

1. 発行済株式の種類及び総数並びに自己株式の種類及び株式数に関する事項 (単位：千株)

|       | 当連結会計年度<br>期首株式数 | 当連結会計年度<br>増加株式数 | 当連結会計年度<br>減少株式数 | 当連結会計年度<br>期末株式数 | 摘要 |
|-------|------------------|------------------|------------------|------------------|----|
| 発行済株式 |                  |                  |                  |                  |    |
| 普通株式  | 28,630           | —                | —                | 28,630           |    |
| 合 計   | 28,630           | —                | —                | 28,630           |    |
| 自己株式  |                  |                  |                  |                  |    |
| 普通株式  | 209              | 176              | 27               | 358 (注) 1,2,3    |    |
| 合 計   | 209              | 176              | 27               | 358              |    |

- (注) 1. 当連結会計年度期首及び当連結会計年度末の自己株式数には、役員報酬 B I P 信託が保有する自社の株式がそれぞれ111千株、83千株含まれております。
2. 自己株式数の増加176千株は、取締役会決議に基づく取得による増加174千株及び単元未満株式の買取請求による増加1千株であります。
3. 自己株式数の減少27千株は、役員報酬 B I P 信託から対象者への交付によるものであります。
4. 2026年4月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っておりますが、当該注記に記載している事項は、株式分割前の株式数を基準としております。

2. 新株予約権及び自己新株予約権に関する事項

| 区分 | 新株<br>予約権の<br>内訳                | 新株予約<br>権の目的<br>となる株<br>式の種類 | 新株予約権の目的となる株式の数(株) | 当連結会計<br>年度末残高<br>(百万円) | 摘要           |
|----|---------------------------------|------------------------------|--------------------|-------------------------|--------------|
|    |                                 | 当連結会計<br>年度期首                | 当連結会計<br>年度増加      | 当連結会計<br>年度減少           | 当連結会計<br>年度末 |
| 当行 | ストック・<br>オプション<br>としての<br>新株予約権 | —                            | —                  | —                       | 8            |
| 合計 |                                 | —                            | —                  | —                       | 8            |

3. 配当に関する事項

(1) 当連結会計年度中の配当金支払額

| (決議)                 | 株式の<br>種類 | 配当金の総額<br>(百万円) | 1株当たり<br>配当額(円) | 基準日        | 効力発生日       |
|----------------------|-----------|-----------------|-----------------|------------|-------------|
| 2025年6月27日<br>定時株主総会 | 普通株式      | 2,425           | 85.0            | 2025年3月31日 | 2025年6月30日  |
| 2025年11月7日<br>取締役会   | 普通株式      | 3,081           | 108.0           | 2025年9月30日 | 2025年12月10日 |

(注) 2025年6月27日の定時株主総会の決議に基づく配当金の総額には、役員報酬 B I P 信託に対する配当金9百万円が含まれております。また、2025年11月7日の取締役会の決議に基づく配当金の総額には、役員報酬 B I P 信託に対する配当金9百万円が含まれております。

(2) 基準日が当連結会計年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が当連結会計年度の末日後となるもの

| (決議)                 | 株式の<br>種類 | 配当金の総額<br>(百万円) | 配当の原資 | 1株当たり<br>配当額(円) | 基準日        | 効力発生日      |
|----------------------|-----------|-----------------|-------|-----------------|------------|------------|
| 2026年6月26日<br>定時株主総会 | 普通株式      | 3,572           | 利益剰余金 | 126.0           | 2026年3月31日 | 2026年6月29日 |

- (注) 1. 配当金の総額には、役員報酬 B I P 信託に対する配当金10百万円が含まれております。
2. 2026年4月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っておりますが、配当基準日は2026年3月31日であるため、株式分割前の株式数を基準とした金額を記載しております。

### (連結キャッシュ・フロー計算書関係)

※1. 現金及び現金同等物の期末残高と連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

|           |            |
|-----------|------------|
| 現金預け金勘定   | 919,077百万円 |
| 定期預け金     | △56,000百万円 |
| 普通預け金     | △715百万円    |
| その他       | △242百万円    |
| 現金及び現金同等物 | 862,119百万円 |

### (1株当たり情報)

1. 1株当たり純資産額 3,399円29銭

(注) 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、次のとおりであります。

|                                 |            |
|---------------------------------|------------|
| 純資産の部の合計額                       | 384,426百万円 |
| 純資産の部の合計額から控除する金額               | 8百万円       |
| (うち新株予約権)                       | 8百万円       |
| 普通株式に係る期末の純資産額                  | 384,417百万円 |
| 1株当たり純資産額の算定に用いられた<br>期末の普通株式の数 | 113,087千株  |

2. 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、次のとおりであります。

(1) 1株当たり当期純利益 166円07銭 (算定上の基礎)

|                        |           |
|------------------------|-----------|
| 親会社株主に帰属する当期純利益        | 18,857百万円 |
| 普通株主に帰属しない金額           | —百万円      |
| 普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益 | 18,857百万円 |
| 普通株式の期中平均株式数           | 113,545千株 |

(2) 潜在株式調整後1株当たり当期純利益 166円06銭 (算定上の基礎)

|                    |      |
|--------------------|------|
| 親会社株主に帰属する当期純利益調整額 | —百万円 |
| 普通株式増加数            | 10千株 |
| (うち新株予約権)          | 10千株 |

希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要



3. 株主資本において自己株式として計上されている役員報酬 B I P 信託に残存する自社の株式は、1株当たり純資産額、1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上、控除する自己株式に含めております。

1株当たり純資産額の算定上、控除した当該自己株式の期末株式数は、当連結会計年度末334千株であります。また、1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上、控除した当該株式の期中平均株式数は、当連結会計年度367千株であります。

4. 2026年4月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。1株当たり純資産額、1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益は、当連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

### (リース取引関係)

1. ファイナンス・リース取引

(借手側)

所有権移転外ファイナンス・リース取引

- (1) リース資産の内容

①有形固定資産

該当事項はありません。

②無形固定資産

該当事項はありません。

- (2) リース資産の減価償却の方法

連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項「4. 会計方針に関する事項」の「(4) 固定資産の減価償却の方法」に記載のとおりであります。

(貸手側)

- (1) リース投資資産の内訳

|          |           |
|----------|-----------|
| リース料債権部分 | 22,008百万円 |
| 見積残存価額部分 | 4,103百万円  |
| 受取利息相当額  | △2,722百万円 |
| リース投資資産  | 23,389百万円 |

- (2) リース債権及びリース投資資産に係るリース料債権部分の連結会計年度末日後の回収予定額

(単位：百万円)

|         | 1年以内  | 1年超<br>2年以内 | 2年超<br>3年以内 | 3年超<br>4年以内 | 4年超<br>5年以内 | 5年超   |
|---------|-------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------|
| リース債権   | 296   | 290         | 275         | 272         | 206         | 184   |
| リース投資資産 | 6,285 | 5,199       | 4,219       | 3,042       | 1,616       | 1,645 |

2. オペレーティング・リース取引

(借手側)

オペレーティング・リース取引のうち解約不能なものに係る未経過リース料

|      |        |
|------|--------|
| 1年以内 | 51百万円  |
| 1年超  | 152百万円 |
| 合計   | 203百万円 |

### (税効果会計関係)

1. 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳

繰延税金資産

|              |           |
|--------------|-----------|
| その他有価証券評価差額金 | 12,234百万円 |
| 貸倒引当金        | 8,921百万円  |
| 減価償却費        | 944百万円    |
| 繰延ヘッジ損失      | 632百万円    |
| 賞与引当金        | 417百万円    |
| 未払事業税        | 413百万円    |
| 株式等償却        | 371百万円    |
| その他          | 2,188百万円  |
| 繰延税金資産小計     | 26,121百万円 |
| 評価性引当額       | △8,354百万円 |
| 繰延税金資産合計     | 17,767百万円 |

繰延税金負債

|              |            |
|--------------|------------|
| その他有価証券評価差額金 | △42,079百万円 |
| 退職給付に係る資産    | △12,244百万円 |
| 繰延ヘッジ利益      | △596百万円    |
| その他          | △195百万円    |
| 繰延税金負債合計     | △55,115百万円 |
| 繰延税金資産の純額    | △37,347百万円 |

2. 連結財務諸表提出会社の法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との間に重要な差異があるときの、当該差異の原因となった主な項目別の内訳

|                          |       |
|--------------------------|-------|
| 法定実効税率                   | 30.4% |
| (調整)                     |       |
| 交際費等永久に損金に算入<br>されない項目   | 0.4%  |
| 受取配当金等永久に益金に算入<br>されない項目 | △1.7% |
| 住民税均等割等                  | 0.2%  |
| 評価性引当額の増減によるもの           | 4.5%  |
| その他                      | 0.5%  |
| 税効果会計適用後の法人税等の<br>負担率    | 34.3% |

### (資産除去債務関係)

資産除去債務につきましては、重要性が乏しいため、注記を省略しております。

### (賃貸等不動産関係)

賃貸等不動産につきましては、重要性が乏しいため、注記を省略しております。

### (金融商品関係)

1. 金融商品の状況に関する事項

- (1) 金融商品に対する取組方針

当行グループは、銀行業務を中心に、リース業務などの金融サービスに係る事業を行っております。このため、保有する金融商品のリスクに見合った収益の獲得を図りつつ、リスクを経営体力の範囲内に収めるため、金融商品に係るさまざまなリスクを可能な限り統計的な手法で計量化し、リスク量に見合った資本（リスク資本）をリスク区分ごとに割り当てて、リスク・リターンをモニタリングする「資本配賦制度」を導入する「統合的リスク管理」を実践し、経営全体としての安定性と健全性の確保を図りつつ効率性の向上につとめております。

- (2) 金融商品の内容及びそのリスク

当行グループが保有する主な金融資産は、貸出金と有価証券であります。

貸出金は、主として国内の法人及び個人に対するものであり、信用リスク、金利リスク及び為替リスクに晒されております。貸出金がある特定の企業・グループや業種に過度に集中した場合、当行グループの自己資本を大きく毀損させる可能性があるため、それぞれ上限額等を設定し、その遵守状況を監視することにより、過度な集中を未然に防止する体制としております。

有価証券は、主に債券、株式、投資信託及び出資金を、純投資目的及び政策保有目的で保有しております。また、一部の債券については満期保有目的でも保有しております。これらは、それぞれ発行体の信用リスク、金利リスク、価格変動リスク及び為替リスクに晒されております。なお、有価証券には、市場流動性に乏しい私募債、非上場株式、出資金が含まれております。

一方、金融負債は、主に国内の法人及び個人からの預金であり、金利リスク、為替リスク及び流動性リスクに晒されています。

デリバティブ取引については、金利関連と通貨関連のスワップ取引、オプション取引、先物・先渡取引、キャップ取引等を行っております。これらは、主に対顧客取引とそのカバー目的の取引であり、それぞれ金利リスク、為替リスク、価格変動リスク及び取引相手の信用リスクに晒されております。

なお、外貨建金融資産から生じる為替リスクに対するヘッジを目的として締結している通貨スワップ取引と為替スワップ取引は、「業種別委員会実務指針第25号」に規定する繰延ヘッジを適用しております。当該ヘッジ取引については、ヘッジ対象である外貨建金融資産額に見合うポジションが存在することの確認により、ヘッジの有効性を評価しております。

### (3) 金融商品に係るリスク管理体制

#### ①信用リスクの管理

当行グループでは、「信用リスク管理規定」及び関連文書を定め、リスク管理委員会（リスク管理部）において、信用リスクの状況を把握するとともに管理態勢等の整備を行っております。

また、リスク統括部を信用リスク管理部署として、内部格付制度の設計及び検証、信用リスク量の計測、与信限度額の設定・管理等を行っております。

#### ②市場リスクの管理

当行グループでは、「市場リスク管理規定」及び関連文書を定め、リスク管理委員会（リスク管理部）において、市場リスクの状況を把握するとともに管理態勢等の整備を行っております。また、ALM（資産負債の総合管理）体制を整備し、収益管理委員会（予算ALM部）において、把握したリスクを踏まえて中長期的な収益の安定化やリスクへの対応策の協議を行っております。

更に、市場取引実施部署（市場国際部）において、市場取引執行（フロントオフィス）、事務管理（バックオフィス）及び市場リスク管理（ミドルオフィス）をそれぞれ担当するセクションに分離して相互牽制機能が働く体制としたうえで、リスク統括部が市場リスク全体を統括管理しております。

##### (i) 金利リスクの管理

当行グループは、金利リスクについて、統計的手法によりリスク量を計測し、管理しております。また、有価証券投資やデリバティブ取引など市場で取引を行うものに関しては、必要に応じてポジションや損益に限度額を定めて管理しております。

##### (ii) 為替リスクの管理

当行グループは、為替リスクについて、統計的手法によりリスク量を計測し、管理しております。また、ポジションや損益について限度額を定め、管理しております。

##### (iii) 価格変動リスクの管理

当行グループは、価格変動リスクについて、統計的手法によりリスク量を計測し、管理しております。また、トレーディング取引については、ポジションや損益に限度額を定めて管理しております。

#### (iv) 市場リスクに係る定量的情報

##### (ア) トレーディング目的の金融商品

当行グループは、商品有価証券取引及び金利先物取引等の金利リスク、並びに外国為替取引等の為替リスクに関するVaR（損失額の推計値）を、ヒストリカル法（保有期間10日、信頼区間99%、観測期間1,200営業日）により計測しており、2026年3月31日（当期の連結決算日）現在、トレーディング目的の金融商品のVaRは14百万円となっております。

##### (イ) トレーディング目的以外の金融商品

当行グループは、貸出金、投資有価証券、預金、銀行間取引及び金利スワップ等の金利リスク、並びに上場株式及び投資信託の価格変動リスク等に関するVaRを、ヒストリカル法（保有期間120日、信頼区間99%、観測期間1,200営業日）により計測しております。

2026年3月31日現在、トレーディング目的以外の金融商品のVaRは33,228百万円となっております。

##### (ウ) VaRについて

当行グループは、計測モデルの妥当性を検証するために、モデルが算出する「VaR」と仮想損益（VaR計測時点のポートフォリオを固定した場合に発生したと仮定される損益）を比較するバックテストを実施しております。

なお、ヒストリカル法によるVaRは、過去のマーケットデータの変動をベースに統計的に算出した一定の発生確率での市場リスク量を計測するものであり、観測期間に存在しないほどの大きな市場変動によるリスクは捕捉することができません。これを補完するため、VaRによる管理に加えてストレステストを定期的に実施しております。

#### ③流動性リスクの管理

当行グループでは、「流動性リスク管理規定」及び関連文書を定め、流動性リスクの管理を行っております。また、風評の発生や業績の悪化などのリスクイベント発生に起因して、取付け騒ぎや資金調達の困難化、又はインターバンク調達における著しい上乗せ金利が発生した場合及びそのおそれがある場合に際し、迅速かつ適切な対応を行うことを目的として、「流動性危機時対応規定」を定め、「警戒時」、「流動性危機時」に分けた事態を想定し、適時適切な対応を取ることができる態勢を整備しております。

流動性リスク管理部署（市場国際部）は、日次、月次などの資金繰り予想を行うとともに、十分な流動性準備を確保するなど、運用・調達構造に即した適切かつ安定的な資金繰りを実施しております。また、流動性リスクに影響を及ぼすと考えられる内生的・外生的要因を特定し、流動性リスクの状況の把握、分析、評価、モニタリングを実施しております。

#### (4) 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明

金融商品の時価には、一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。



## 2. 金融商品の時価等に関する事項

連結貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額は、次のとおりであります。なお、市場価格のない株式等及び組合出資金は、次表には含めておりません（注1）参照。また、現金預け金、コールローン及び買入手形、買入金銭債権、外国為替（資産・負債）、コールマネー及び売渡手形は、短期間で決済されるため時価が帳簿価額に近似することから、注記を省略しております。

（単位：百万円）

|                  | 連結貸借<br>対照表計上額 | 時価        | 差額      |
|------------------|----------------|-----------|---------|
| (1) 有価証券         |                |           |         |
| 満期保有目的の債券        | 230,675        | 227,586   | △3,088  |
| その他有価証券          | 813,167        | 813,167   | —       |
| (2) 貸出金          | 3,688,724      |           |         |
| 貸倒引当金（*1）        | △20,965        |           |         |
|                  | 3,667,758      | 3,606,868 | △60,890 |
| 資産計              | 4,711,601      | 4,647,622 | △63,979 |
| (1) 預金           | 4,744,569      | 4,744,438 | △130    |
| (2) 譲渡性預金        | 114,952        | 115,026   | 73      |
| (3) 借入金          | 469,761        | 468,669   | △1,091  |
| 負債計              | 5,329,283      | 5,328,134 | △1,148  |
| デリバティブ取引（*2）     |                |           |         |
| ヘッジ会計が適用されていないもの | 1,265          | 1,265     | —       |
| ヘッジ会計が適用されているもの  | (807)          | (807)     | —       |
| デリバティブ取引計        | 458            | 458       | —       |

（\*1）貸出金に対応する一般貸倒引当金及び個別貸倒引当金を控除しております。

（\*2）その他資産・負債に計上しているデリバティブ取引を一括して表示しております。  
デリバティブ取引によって生じた正味の債権・債務は純額で表示しており、合計で正味の債務となる項目については、（ ）で表示しております。

（\*3）重要性が乏しい科目については、記載を省略しております。

（注1）市場価格のない株式等及び組合出資金の連結貸借対照表計上額は次のとおりであり、金融商品の時価情報の「その他有価証券」には含まれておりません。

（単位：百万円）

|                |       |
|----------------|-------|
| 非上場株式（*1）（*2）  | 2,777 |
| 組合出資金等（*3）（*4） | 8,559 |

（\*1）非上場株式については、「金融商品の時価等の開示に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第19号 2020年3月31日）第5項に基づき、時価開示の対象とはしていません。

（\*2）当連結会計年度において、非上場株式について1百万円減損処理を行っております。

（\*3）組合出資金については、「時価の算定に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日）第24-16項に基づき、時価開示の対象とはしていません。

（\*4）当連結会計年度において、組合出資金について37百万円減損処理を行っております。

（注2）金銭債権及び満期のある有価証券の連結決算日後の償還予定額

（単位：百万円）

|                   | 1年以内      | 1年超<br>3年以内 | 3年超<br>5年以内 | 5年超<br>7年以内 | 7年超<br>10年以内 | 10年超    |
|-------------------|-----------|-------------|-------------|-------------|--------------|---------|
| 有価証券              |           |             |             |             |              |         |
| 満期保有目的の債券         | 110,657   | 120,248     | —           | —           | —            | —       |
| うち国債              | 109,000   | —           | —           | —           | —            | —       |
| 地方債               | 1,554     | 90,068      | —           | —           | —            | —       |
| 社債                | 103       | 30,180      | —           | —           | —            | —       |
| その他有価証券のうち満期があるもの | 91,258    | 202,471     | 155,834     | 124,246     | 48,256       | 37,799  |
| うち国債              | —         | 72,500      | 9,500       | —           | 500          | —       |
| 地方債               | 4,368     | 56,924      | 95,515      | 82,375      | 11,212       | 19,597  |
| 社債                | 5,325     | 25,107      | 48,708      | 22,758      | 3,510        | 13,249  |
| その他               | 81,564    | 47,939      | 2,110       | 19,112      | 33,033       | 4,952   |
| 貸出金（*）            | 1,449,410 | 627,303     | 516,058     | 263,364     | 247,609      | 537,906 |
| 合計                | 1,651,326 | 950,023     | 671,892     | 387,610     | 295,866      | 575,706 |

（\*）貸出金のうち、破綻先、実質破綻先及び破綻懸念先に対する債権等、償還予定額が見込めないもの36,551百万円、期間の定めのないもの10,519百万円は含めておりません。

（注3）借入金及びその他の有利子負債の連結決算日後の返済予定額

（単位：百万円）

|       | 1年以内      | 1年超<br>3年以内 | 3年超<br>5年以内 | 5年超<br>7年以内 | 7年超<br>10年以内 | 10年超 |
|-------|-----------|-------------|-------------|-------------|--------------|------|
| 預金（*） | 4,551,229 | 165,533     | 25,909      | 244         | 1,652        | —    |
| 譲渡性預金 | 114,952   | —           | —           | —           | —            | —    |
| 借入金   | 323,023   | 141,850     | 3,993       | 227         | 334          | 331  |
| 合計    | 4,989,205 | 307,384     | 29,902      | 471         | 1,987        | 331  |

（\*）預金のうち、要求払預金については、「1年以内」に含めて開示しております。

## 3. 金融商品の時価のレベルごとの内訳等に関する事項

金融商品の時価を、時価の算定に用いたインプットの観察可能性及び重要性に応じて、以下の3つのレベルに分類しております。

レベル1の時価：観察可能な時価の算定に係るインプットのうち、活発な市場において形成される当該時価の算定の対象となる資産又は負債に関する相場価格により算定した時価

レベル2の時価：観察可能な時価に係るインプットのうち、レベル1のインプット以外の時価の算定に係るインプットを用いて算定した時価

レベル3の時価：観察できない時価の算定に係るインプットを使用して算定した時価

時価の算定に重要な影響を与えるインプットを複数使用している場合には、それらのインプットがそれぞれ属するレベルのうち、時価の算定における優先順位が最も低いレベルに時価を分類しております。

(1) 時価で連結貸借対照表に計上している金融商品

(単位：百万円)

| 区分                  | 時価      |         |        |         |
|---------------------|---------|---------|--------|---------|
|                     | レベル1    | レベル2    | レベル3   | 合計      |
| 有価証券<br>その他<br>有価証券 |         |         |        |         |
| 国債                  | 80,633  | —       | —      | 80,633  |
| 地方債                 | —       | 246,069 | —      | 246,069 |
| 社債                  | —       | 94,728  | 14,076 | 108,804 |
| 株式                  | 170,464 | —       | —      | 170,464 |
| その他                 | 11,846  | 184,823 | 10,405 | 207,075 |
| 資産計                 | 262,943 | 525,621 | 24,482 | 813,047 |
| デリバティブ取引            |         |         |        |         |
| 金利関連                | —       | 507     | —      | 507     |
| 通貨関連                | —       | △48     | —      | △48     |
| デリバティブ取引計           | —       | 458     | —      | 458     |

(\*) 基準価額を時価とみなす取扱いを適用している投資信託(連結貸借対照表計上額：119百万円)について、時価のレベルごとの内訳等に関する事項を注記しておりません。

(2) 時価で連結貸借対照表に計上している金融商品以外の金融商品

(単位：百万円)

| 区分            | 時価      |           |           |           |
|---------------|---------|-----------|-----------|-----------|
|               | レベル1    | レベル2      | レベル3      | 合計        |
| 有価証券          |         |           |           |           |
| 満期保有<br>目的の債券 |         |           |           |           |
| 国債            | 108,682 | —         | —         | 108,682   |
| 地方債           | —       | 89,438    | —         | 89,438    |
| 社債            | —       | 29,465    | —         | 29,465    |
| 貸出金           | —       | —         | 3,606,868 | 3,606,868 |
| 資産計           | 108,682 | 118,903   | 3,606,868 | 3,834,454 |
| 預金            | —       | 4,744,438 | —         | 4,744,438 |
| 譲渡性預金         | —       | 115,026   | —         | 115,026   |
| 借入金           | —       | 468,669   | —         | 468,669   |
| 負債計           | —       | 5,328,134 | —         | 5,328,134 |

(注1) 時価の算定に用いた評価技法及び時価の算定に係るインプットの説明

資産

有価証券

有価証券については、活発な市場における無調整の相場価格を利用できるものはレベル1の時価に分類しております。主に上場株式や国債がこれに含まれます。

公表された相場価格を用いていたとしても市場が活発でない場合にはレベル2の時価に分類しております。主に地方債、社債がこれに含まれます。また、市場における取引価格が存在しない投資信託について、解約又は買戻請求に関して市場参加者からリスクの対価を求められるほどの重要な制限がない場合には基準価額を時価とし、レベル2の時価に分類しております。

相場価格が入手できない場合には、ブローカー等の第三者から入手した評価価格又は将来キャッシュ・フローの現在価値技法などの評価技法を用いて時価を算定しております。評価にあたっては観察可能なインプットを最大限利用しており、インプットにはTIBOR、国債利回り、SWAPレート、信用スプレッド等が含まれます。算定に当たり重要な観察できないインプットを用いている場合には、レベル3の時価に分類しております。

自行保証付私募債は、内部格付、期間に基づく区分ごとに、元利金の合計額を同様の起債を行った場合に想定される利率で割り引いて時価を算定しており、当該割引率が観察不能であることからレベル3の時価に分類しております。

貸出金

貸出金については、貸出金の種類及び内部格付、期間に基づく区分ごとに、元利金の合計額を同様の新規貸出を行った場合に想定される利率で割り引いて時価を算定しており、当該割引率が観察不能であることからレベル3の時価に分類しております。また、破綻先、実質破綻先及び破綻懸念先に対する債権等については、見積将来キャッシュ・フローの現在価値又は担保及び保証による回収見込額等に基づいて貸倒見積高を算定しているため、時価は連結決算日における連結貸借対照表上の債権等計上額から貸倒引当金計上額を控除した金額に近似していることから、当該価額を時価としており、レベル3の時価に分類しております。

貸出金のうち、当該貸出を担保資産の範囲内に限るなどの特性により、返済期限を設けていないものについては、返済見込み期間及び金利条件等から、時価は帳簿価額と近似しているものと想定されるため、帳簿価額を時価としており、レベル3の時価に分類しております。

負債

預金、及び譲渡性預金

要求払預金については、連結決算日に要求された場合の支払額(帳簿価額)を時価とみなしております。また、定期預金の時価は、一定の期間ごとに区分して、将来のキャッシュ・フローを割り引いて現在価値を算定しております。その割引率は、新規に預金を受け入れる際に使用する利率を用いております。なお、預入期間が短期間(6ヵ月以内)のものは、時価は帳簿価額と近似していることから、当該帳簿価額を時価としております。当該時価はレベル2の時価に分類しております。

借入金

借入金については、一定の期間ごとに区分した当該借入金の元利金の合計額を、同様の借入において想定される利率で割り引いて現在価値を算定しております。このうち、変動金利によるものは、短期間で市場金利を反映し、また、当行及び連結子会社の信用状態は実行後大きく異ならないことから、時価は帳簿価額と近似していると考えられるため、当該帳簿価額を時価としております。なお、約定期間が短期間(1年以内)のものは、時価は帳簿価額と近似していることから、当該帳簿価額を時価としております。当該時価はレベル2の時価に分類しております。

デリバティブ取引

取引所取引については、活発な市場における無調整の相場価格を利用できるものはレベル1の時価に分類しております。

店頭取引については、金利や為替レート、ボラティリティ等のインプットを用いて、現在価値技法やオプション価格計算モデル等の評価技法を利用して時価を算定しております。また、取引相手の信用リスク及び当行自身の信用リスクに基づく価格調整を行っております。観察できないインプットを用いていない又はその影響が重要でない場合はレベル2の時価に分類しており、重要な観察できないインプットを用いている場合はレベル3の時価に分類しております。

(注2) 時価で連結貸借対照表に計上している金融商品のうち  
レベル3の時価に関する情報

(1) 重要な観察できないインプットに関する定量的情報

| 区分     | 評価技法       | 重要な観察<br>できない<br>インプット | インプットの<br>範囲    | インプットの<br>加重平均 |
|--------|------------|------------------------|-----------------|----------------|
| 有価証券   |            |                        |                 |                |
| 其他有価証券 |            |                        |                 |                |
| 私募債    | 現在価値<br>技法 | 信用<br>スプレッド            | 0.03%—<br>0.09% | 0.05%          |

(2) 期首残高から期末残高への調整表、当期の損益に認識した評価損益

| (単位：百万円) |          |                     |                                     |                                 |                                  |          |                                                                                                  |
|----------|----------|---------------------|-------------------------------------|---------------------------------|----------------------------------|----------|--------------------------------------------------------------------------------------------------|
|          | 期首<br>残高 | 当期の損益又は<br>その他の包括利益 | 購入、<br>売却、<br>発行<br>及び<br>決済の<br>純額 | レベル<br>3の時<br>価へ<br>の振替<br>(*3) | レベル<br>3の時<br>価から<br>の振替<br>(*4) | 期末<br>残高 | 当期の<br>損益に<br>計上し<br>た額のうち<br>連結貸借<br>対照表<br>において保<br>有する金<br>融資産及<br>び金融負<br>債の評価<br>損益<br>(*1) |
|          |          | 損益に<br>計上<br>(*1)   | その他の<br>包括利<br>益に計<br>上<br>(*2)     |                                 |                                  |          |                                                                                                  |
| 有価証券     |          |                     |                                     |                                 |                                  |          |                                                                                                  |
| 其他有価証券   |          |                     |                                     |                                 |                                  |          |                                                                                                  |
| 私募債      | 18,444   | —                   | △131                                | △4,236                          | —                                | 14,076   | —                                                                                                |
| 仕組債      | 9,828    | —                   | 577                                 | —                               | —                                | 10,405   | —                                                                                                |

(\*1) 連結損益計算書の「その他業務収益」及び「その他業務費用」に含まれております。

(\*2) 連結包括利益計算書の「その他の包括利益」の「その他有価証券評価差額金」に含まれております。

(\*3) レベル2の時価からレベル3の時価への振替であり、当連結会計年度中は該当ありません。

(\*4) レベル3の時価からレベル2の時価への振替であり、当連結会計年度中は該当ありません。

(3) 時価の評価プロセスの説明

当行グループはリスク管理部署及びミドル部門にて時価の算定に関する方針及び手続を定めており、これに沿ってフロント部門が時価評価モデルを策定しております。バック部門にて算定された時価は、ミドル部門にて、時価評価モデル及びインプットの妥当性並びに時価のレベルの分類の適切性を検証しております。検証結果は每期リスク管理部署に報告され、時価の算定方針及び手続に関する適切性が確保されております。

時価評価モデルには、観察可能なデータを可能な限り活用しております。また、第三者から入手した相場価格を利用する場合においては、観察可能なインプットを用いて、当行グループにて再計算した結果と比較等を行い、価格の妥当性を検証しております。

(4) 重要な観察できないインプットを変化させた場合の時価に対する影響に関する説明

信用スプレッド

信用スプレッドは、私募債のクーポンレートに含まれる上乗せ金利であり、過去1年間の発行実績をもとに算定した推定値であります。信用スプレッドの大幅な上昇（低下）は、時価の著しい低下（上昇）を生じさせます。

(退職給付関係)

1. 採用している退職給付制度の概要

当行は確定給付型の制度として、規約型確定給付企業年金制度、退職一時金制度を設けており、従業員の退職等に際して割増退職金を支払う場合があります。なお、当行は退職給付信託を設定しております。

連結子会社は、確定給付型の制度として、退職一時金制度、確定拠出型の制度として確定拠出年金制度を設けております。なお、連結子会社の退職一時金制度は、簡便法により退職給付に係る負債及び退職給付費用を計算しております。

2. 確定給付制度

(1) 退職給付債務の期首残高と期末残高の調整表

|              |           |
|--------------|-----------|
| 退職給付債務の期首残高  | 43,303百万円 |
| 勤務費用（注）      | 971百万円    |
| 利息費用         | 867百万円    |
| 数理計算上の差異の発生額 | △3,645百万円 |
| 退職給付の支払額     | △2,254百万円 |
| 過去勤務費用の発生額   | 一百万円      |
| 退職給付債務の期末残高  | 39,242百万円 |

（注）簡便法を採用している連結子会社の退職給付費用は、一括して「勤務費用」に含めて計上しております。

(2) 年金資産の期首残高と期末残高の調整表

|              |           |
|--------------|-----------|
| 年金資産の期首残高    | 78,405百万円 |
| 期待運用収益       | 1,356百万円  |
| 数理計算上の差異の発生額 | 17,932百万円 |
| 事業主からの拠出額    | 703百万円    |
| 退職給付の支払額     | △1,534百万円 |
| 年金資産の期末残高    | 96,863百万円 |

(3) 退職給付債務及び年金資産の期末残高と連結貸借対照表に計上された退職給付に係る負債及び退職給付に係る資産の調整表

|                       |            |
|-----------------------|------------|
| 積立型制度の退職給付債務          | 39,242百万円  |
| 年金資産                  | △96,863百万円 |
|                       | △57,621百万円 |
| 非積立型制度の退職給付債務         | 一百万円       |
| 連結貸借対照表に計上された負債と資産の純額 | △57,621百万円 |
| 退職給付に係る負債             | 272百万円     |
| 退職給付に係る資産             | △57,893百万円 |
| 連結貸借対照表に計上された負債と資産の純額 | △57,621百万円 |

(4) 退職給付費用及びその内訳項目の金額

|                 |           |
|-----------------|-----------|
| 勤務費用（注）         | 971百万円    |
| 利息費用            | 867百万円    |
| 期待運用収益          | △1,356百万円 |
| 数理計算上の差異の費用処理額  | △1,668百万円 |
| 過去勤務費用の費用処理額    | 一百万円      |
| 確定給付制度に係る退職給付費用 | △1,185百万円 |

（注）簡便法を採用している連結子会社の退職給付費用は、一括して「勤務費用」に含めて計上しております。

(5) 退職給付に係る調整額

退職給付に係る調整額に計上した項目（法人税等及び税効果控除前）の内訳は次のとおりであります。

|          |           |
|----------|-----------|
| 数理計算上の差異 | 19,909百万円 |
| 合計       | 19,909百万円 |

(6) 退職給付に係る調整累計額

退職給付に係る調整累計額に計上した項目（法人税等及び税効果控除前）の内訳は次のとおりであります。

|             |           |
|-------------|-----------|
| 未認識数理計算上の差異 | 38,510百万円 |
| 合計          | 38,510百万円 |

(7) 年金資産に関する事項

①年金資産合計に対する主な分類ごとの比率は、次のとおりであります。

|          |        |
|----------|--------|
| 債券       | 10.6%  |
| 株式       | 48.2%  |
| 生命保険一般勘定 | 16.6%  |
| その他      | 24.6%  |
| 合計       | 100.0% |

(注) 年金資産合計には、企業年金制度に対して設定した退職給付信託が23.7%、退職一時金制度に対して設定した退職給付信託が27.8%含まれております。

②長期期待運用収益率の設定方法

年金資産の長期期待運用収益率を決定するため、現在及び予想される年金資産の配分と、年金資産を構成する多様な資産からの現在及び将来期待される長期の収益率を考慮しております。

(8) 数理計算上の計算基礎に関する事項

主要な数理計算上の計算基礎

|           |               |
|-----------|---------------|
| 割引率       | 2.97%         |
| 長期期待運用収益率 | 主に2.00%～3.00% |
| 予想昇給率     | 3.22%         |

3. 確定拠出制度

連結子会社の確定拠出制度への要拠出額は5百万円であります。

(ストック・オプション等関係)

1. スtock・オプションに係る費用計上額及び科目名

該当事項はありません。

2. スtock・オプションの内容、規模及びその変動状況

(1) スtock・オプションの内容

|                        | 2015年<br>ストック・オプション          | 2016年<br>ストック・オプション          |
|------------------------|------------------------------|------------------------------|
| 付与対象者の区分及び人数           | 当行の取締役<br>(社外取締役を除く) 9名      | 当行の取締役<br>(社外取締役を除く) 8名      |
| 株式の種類別のストック・オプションの数(注) | 普通株式<br>9,430株               | 普通株式<br>13,770株              |
| 付与日                    | 2015年7月24日                   | 2016年7月26日                   |
| 権利確定条件                 | 権利確定条件は定めていない                | 同左                           |
| 対象勤務期間                 | 対象勤務期間は定めていない                | 同左                           |
| 権利行使期間                 | 2015年7月25日から<br>2045年7月24日まで | 2016年7月27日から<br>2046年7月26日まで |

(注) 2018年10月1日付株式併合(10株につき1株の割合)による併合後の株式数に換算して記載しております。また、2026年4月1日付で株式分割(1株につき4株の割合)を行っておりますが、当該注記に記載している事項は、株式分割前の株式数を基準としております。

(2) スtock・オプションの規模及びその変動状況

当連結会計年度(2026年3月期)において存在したストック・オプションを対象とし、ストック・オプションの数については、株式数に換算して記載しております。

①ストック・オプションの数

|          | 2015年<br>ストック・オプション | 2016年<br>ストック・オプション |
|----------|---------------------|---------------------|
| 権利確定前(株) |                     |                     |
| 前連結会計年度末 | 860                 | 1,840               |
| 付与       | —                   | —                   |
| 失効       | —                   | —                   |
| 権利確定     | —                   | —                   |
| 未確定残     | 860                 | 1,840               |
| 権利確定後(株) |                     |                     |
| 前連結会計年度末 | —                   | —                   |
| 権利確定     | —                   | —                   |
| 権利行使     | —                   | —                   |
| 失効       | —                   | —                   |
| 未行使残     | —                   | —                   |

(注) 2018年10月1日付株式併合(10株につき1株の割合)による併合後の株式数に換算して記載しております。また、2026年4月1日付で株式分割(1株につき4株の割合)を行っておりますが、当該注記に記載している事項は、株式分割前の株式数を基準としております。

②単価情報

|                    | 2015年<br>ストック・オプション | 2016年<br>ストック・オプション |
|--------------------|---------------------|---------------------|
| 権利行使価格             | 1株当たり 1円            | 1株当たり 1円            |
| 行使時平均株価            | —                   | —                   |
| 付与日における<br>公正な評価単価 | 1株当たり 4,090円        | 1株当たり 2,850円        |

(注) 2018年10月1日付株式併合(10株につき1株の割合)による併合後の価格に換算して記載しております。また、2026年4月1日付で株式分割(1株につき4株の割合)を行っておりますが、当該注記に記載している事項は、株式分割前の株式数を基準としております。

3. スtock・オプションの公正な評価単価の見積方法

当連結会計年度において付与されたストック・オプションはありません。

4. スtock・オプションの権利確定数の見積方法

基本的には、将来の失効数の合理的な見積りは困難であるため、実績の失効数のみ反映させる方法を採用しております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

| 区分        | (単位: 百万円)<br>当連結会計年度 |
|-----------|----------------------|
| 経常収益      | 108,556              |
| うち役員取引等収益 | 13,847               |
| 為替業務      | 3,033                |
| 預金・貸出業務   | 3,028                |
| 証券関連業務    | 1,796                |
| 保証業務      | 306                  |
| 代理業務      | 85                   |
| その他業務     | 5,597                |

(注) 上表には、企業会計基準第10号「金融商品に関する会計基準」に基づく収益も含んでおります。



## (重要な後発事象)

(株式分割及び株式分割に伴う定款の一部変更)

当行は、2026年2月27日開催の取締役会の決議に基づき、2026年4月1日付で株式分割及び株式分割に伴う定款の一部変更を行っております。

### 1. 株式分割について

#### (1) 株式分割の目的

株式分割により、当行株式の投資単位当たりの金額（最低投資金額）を引き下げ、投資家の皆さまが投資しやすい環境を整えることで、株式の流動性の向上と投資家層のさらなる拡大を図ることを目的としております。

#### (2) 株式分割の概要

##### ①分割の方法

2026年3月31日（火）を基準日として、同日最終の株主名簿に記載又は記録された株主の所有する普通株式を、1株につき4株の割合をもって分割しております。

なお、今回の株式分割に際して、資本金の額に変更はありません。

##### ②分割により増加する株式数

|                   |              |
|-------------------|--------------|
| 株式分割前の発行済株式総数     | 28,630,000株  |
| 今回の株式分割により増加する株式数 | 85,890,000株  |
| 株式分割後の発行済株式総数     | 114,520,000株 |
| 株式分割後の発行可能株式総数    | 350,000,000株 |

##### ③株式分割の日程

|        |               |
|--------|---------------|
| 基準日公告日 | 2026年3月12日（木） |
| 基準日    | 2026年3月31日（火） |
| 効力発生日  | 2026年4月1日（水）  |

##### ④1株当たり情報に及ぼす影響

1株当たり情報に及ぼす影響については、「(1株当たり情報)」に記載しております。

### 2. 株式分割に伴う定款の一部変更

#### (1) 変更の理由

今回の株式分割に伴い、会社法第184条第2項の規定に基づき、2026年4月1日（水）をもって、当行定款第6条に定める発行可能株式総数を変更いたしました。

#### (2) 変更内容

| (下線部分は変更箇所を示しております)           |                                          |
|-------------------------------|------------------------------------------|
| 変更前                           | 変更後                                      |
| (発行可能株式総数)                    | (発行可能株式総数)                               |
| 第6条 当銀行の発行可能株式総数は、9,930万株とする。 | 第6条 当銀行の発行可能株式総数は、 <u>3億5,000万株</u> とする。 |
| (3) 変更の日程                     |                                          |
| 取締役会決議日                       | 2026年2月27日（金）                            |
| 効力発生日                         | 2026年4月1日（水）                             |

(従業員持株会向け譲渡制限付株式インセンティブとしての自己株式の処分)

当行は、2026年5月12日開催の取締役会において、従業員持株会向け譲渡制限付株式インセンティブ制度（以下「本制度」といいます。）の導入及び本制度に基づき、下記のとおり、百十四銀行従業員持株会（以下「本持株会」といいます。）を割当予定先として、譲渡制限付株式としての自己株式の処分（以下「本自己株式処分」又は「処分」といいます。）を行うことについて決議いたしました。

#### 1. 処分の概要

|                  |                                                                                                                                                                                               |
|------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| (1) 処分期日         | 2026年8月5日                                                                                                                                                                                     |
| (2) 処分する株式の種類及び数 | 当行普通株式 162,581株（注）                                                                                                                                                                            |
| (3) 処分価額         | 1株につき2,397円                                                                                                                                                                                   |
| (4) 処分総額         | 389,706,657円（注）                                                                                                                                                                               |
| (5) 処分方法(割当予定先)  | 第三者割当の方法により、本持株会から引受けの申込みがされることを条件として、上記(2)に記載の処分する株式の数の範囲で本持株会が定めた申込み株式の数を本持株会に対して割り当てます（当該割り当てた数が処分する株式の数となります。）。<br>(百十四銀行従業員持株会 162,581株)<br>なお、各対象従業員（以下に定義します。）からの付与株式数の一部申し込みは受け付けません。 |
| (6) その他          | 本自己株式処分については、金融商品取引法に基づく臨時報告書を提出しております。                                                                                                                                                       |

(注) 「処分する株式の数」及び「処分総額」は、本制度の適用対象となり得る最大人数である当行の従業員2,017人に対して、譲渡制限付株式として付与するものと仮定して算出したものであり、実際に処分する株式の数及び処分総額は、本持株会未加入者への入会プロモーションや本持株会の会員への本制度に対する同意確認が終了した後の、本制度に同意する当行の従業員（以下「対象従業員」といいます。）の数（最大2,017名）及び当行が定める従業員等級に応じて規定する1名当たりの付与株式数（パターンA：最大607名125株、パターンB：最大688名83株、パターンC：最大722名41株）に応じて確定します。具体的には、上記(5)に記載のとおり、本持株会が定めた申込み株式の数が「処分する株式の数」となり、当該数に1株当たりの処分価額を乗じた額が「処分総額」となります。

また、当行は2026年4月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を実施しており、上記は株式分割後の株式数で記載しております。

#### 2. 処分の目的及び理由

当行は、2026年5月12日開催の取締役会において、本持株会に加入する当行の従業員のうち、対象従業員に対し、対象従業員の福利厚生増進策として、本持株会を通じて、当行が発行又は処分する当行普通株式を譲渡制限付株式として取得させる機会を創出することによって、対象従業員の財産形成の一助とすることに加えて、当行の企業価値の持続的な向上を図るインセンティブを対象従業員に与えるとともに、対象従業員が当行の株主との一層の価値共有を進めることを目的とした本制度を導入することを決議いたしました。

# セグメント情報等

## 【セグメント情報】

### 1. 報告セグメントの概要

当行グループの報告セグメントは、当行グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当行グループは、銀行業務を中心に、連結子会社においてリース業務をはじめとする金融サービスに係わる事業を行っており、当行及び企業集団を構成する個々の連結子会社がそれぞれ事業計画等を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当行グループは、当行及び個々の連結子会社を基礎とした業務別のセグメントから構成されており、「銀行業」及び「リース業」の2つを報告セグメントとしております。なお、「銀行業」は、預金業務、貸出業務、有価証券投資業務、為替業務等を行い、「リース業」は、連結子会社の百十四リース株式会社において、リース業務等を行っております。

### 2. 報告セグメントごとの経常収益、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と同一であります。

なお、報告セグメントの利益は、経常利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部経常収益は、第三者間取引価格に基づいております。

### 3. 報告セグメントごとの経常収益、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

#### 前連結会計年度（2024年4月1日から2025年3月31日まで）

（単位：百万円）

|                    | 報告セグメント   |        |           | その他    | 合計        | 調整額      |  | 連結財務諸表<br>計上額 |
|--------------------|-----------|--------|-----------|--------|-----------|----------|--|---------------|
|                    | 銀行業       | リース業   | 計         |        |           |          |  |               |
| 経常収益               |           |        |           |        |           |          |  |               |
| 外部顧客に対する経常収益       | 80,853    | 6,982  | 87,836    | 2,170  | 90,007    | —        |  | 90,007        |
| セグメント間の内部経常収益      | 527       | 487    | 1,015     | 3,521  | 4,536     | △ 4,536  |  | —             |
| 計                  | 81,381    | 7,469  | 88,851    | 5,692  | 94,543    | △ 4,536  |  | 90,007        |
| セグメント利益            | 18,517    | 280    | 18,798    | 1,550  | 20,348    | △ 437    |  | 19,910        |
| セグメント資産            | 5,731,563 | 29,791 | 5,761,355 | 25,243 | 5,786,598 | △ 33,015 |  | 5,753,583     |
| セグメント負債            | 5,421,666 | 24,084 | 5,445,750 | 9,684  | 5,455,434 | △ 30,125 |  | 5,425,309     |
| その他の項目             |           |        |           |        |           |          |  |               |
| 減価償却費              | 2,416     | 169    | 2,586     | 305    | 2,892     | 44       |  | 2,936         |
| 資金運用収益             | 56,185    | 267    | 56,453    | 92     | 56,545    | △ 525    |  | 56,019        |
| 資金調達費用             | 14,215    | 108    | 14,324    | 20     | 14,344    | △ 111    |  | 14,233        |
| 特別利益               | 73        | 30     | 104       | —      | 104       | △ 13     |  | 91            |
| (固定資産処分益)          | 4         | 30     | 34        | —      | 34        | △ 13     |  | 21            |
| (国庫補助金受贈益)         | 69        | —      | 69        | —      | 69        | —        |  | 69            |
| 特別損失               | 453       | —      | 453       | 11     | 464       | —        |  | 464           |
| (固定資産処分損)          | 125       | —      | 125       | 11     | 136       | —        |  | 136           |
| (減損損失)             | 259       | —      | 259       | —      | 259       | —        |  | 259           |
| (固定資産圧縮損)          | 69        | —      | 69        | —      | 69        | —        |  | 69            |
| 税金費用               | 5,265     | 75     | 5,340     | 497    | 5,838     | △ 1      |  | 5,836         |
| 有形固定資産及び無形固定資産の増加額 | 3,756     | 0      | 3,757     | 304    | 4,061     | 97       |  | 4,158         |

(注) 1.一般企業の売上高に代えて、それぞれ経常収益を記載しております。また、差異調整につきましては、経常収益と連結損益計算書の経常収益計上額との差異について記載しております。

2.「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、クレジットカード業及び信用保証業等を含んでおります。

3.「セグメント利益」「セグメント資産」「セグメント負債」「減価償却費」「資金運用収益」「資金調達費用」「特別利益」「税金費用」「有形固定資産及び無形固定資産の増加額」の調整額は、主にセグメント間取引消去であります。

4.セグメント利益は、連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

当連結会計年度（2025年4月1日から2026年3月31日まで）

（単位：百万円）

|                    | 報告セグメント   |        |           | その他    | 合計        | 調整額      | 連結財務諸表<br>計上額 |
|--------------------|-----------|--------|-----------|--------|-----------|----------|---------------|
|                    | 銀行業       | リース業   | 計         |        |           |          |               |
| 経常収益               |           |        |           |        |           |          |               |
| 外部顧客に対する経常収益       | 99,000    | 7,467  | 106,467   | 2,088  | 108,556   | —        | 108,556       |
| セグメント間の内部経常収益      | 591       | 499    | 1,090     | 3,653  | 4,744     | △ 4,744  | —             |
| 計                  | 99,591    | 7,966  | 107,558   | 5,741  | 113,300   | △ 4,744  | 108,556       |
| セグメント利益            | 27,687    | 417    | 28,104    | 1,522  | 29,627    | △ 491    | 29,135        |
| セグメント資産            | 5,822,240 | 34,876 | 5,857,117 | 26,090 | 5,883,207 | △ 37,403 | 5,845,803     |
| セグメント負債            | 5,457,189 | 28,790 | 5,485,979 | 9,921  | 5,495,901 | △ 34,523 | 5,461,377     |
| その他の項目             |           |        |           |        |           |          |               |
| 減価償却費              | 2,685     | 162    | 2,847     | 277    | 3,124     | 60       | 3,185         |
| 資金運用収益             | 68,338    | 297    | 68,635    | 129    | 68,765    | △ 674    | 68,090        |
| 資金調達費用             | 17,043    | 207    | 17,250    | 18     | 17,269    | △ 188    | 17,080        |
| 特別利益               | 26        | 47     | 73        | —      | 73        | △ 4      | 69            |
| （固定資産処分益）          | 26        | 47     | 73        | —      | 73        | △ 4      | 69            |
| 特別損失               | 443       | —      | 443       | 30     | 474       | —        | 474           |
| （固定資産処分損）          | 156       | —      | 156       | 30     | 187       | —        | 187           |
| （減損損失）             | 286       | —      | 286       | —      | 286       | —        | 286           |
| 税金費用               | 9,261     | 104    | 9,366     | 500    | 9,866     | 7        | 9,873         |
| 有形固定資産及び無形固定資産の増加額 | 4,449     | 0      | 4,449     | 341    | 4,791     | 137      | 4,929         |

（注）1.一般企業の売上高に代えて、それぞれ経常収益を記載しております。また、差異調整につきましては、経常収益と連結損益計算書の経常収益計上額との差異について記載しております。

2.「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、クレジットカード業及び信用保証業等を含んでおります。

3.「セグメント利益」「セグメント資産」「セグメント負債」「減価償却費」「資金運用収益」「資金調達費用」「特別利益」「税金費用」「有形固定資産及び無形固定資産の増加額」の調整額は、主にセグメント間取引消去であります。

4.セグメント利益は、連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

## 【関連情報】

前連結会計年度（2024年4月1日から2025年3月31日まで）

### 1. サービスごとの情報

（単位：百万円）

|              | 貸出業務   | 有価証券投資業務 | リース業務 | その他    | 合計     |
|--------------|--------|----------|-------|--------|--------|
| 外部顧客に対する経常収益 | 42,425 | 21,188   | 6,982 | 19,411 | 90,007 |

（注）一般企業の売上高に代えて、それぞれ経常収益を記載しております。

### 2. 地域ごとの情報

#### （1）経常収益

当行グループは、本邦の外部顧客に対する経常収益に区分した金額が連結損益計算書の経常収益の90%を超えるため、記載を省略しております。

#### （2）有形固定資産

当行グループは、本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

### 3. 主要な顧客ごとの情報

特定の顧客に対する経常収益で連結損益計算書の経常収益の10%以上を占めるものがないため、記載を省略しております。

当連結会計年度（2025年4月1日から2026年3月31日まで）

### 1. サービスごとの情報

（単位：百万円）

|              | 貸出業務   | 有価証券投資業務 | リース業務 | その他    | 合計      |
|--------------|--------|----------|-------|--------|---------|
| 外部顧客に対する経常収益 | 48,138 | 29,421   | 7,467 | 23,529 | 108,556 |

（注）一般企業の売上高に代えて、それぞれ経常収益を記載しております。

### 2. 地域ごとの情報

#### （1）経常収益

当行グループは、本邦の外部顧客に対する経常収益に区分した金額が連結損益計算書の経常収益の90%を超えるため、記載を省略しております。

#### （2）有形固定資産

当行グループは、本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

### 3. 主要な顧客ごとの情報

特定の顧客に対する経常収益で連結損益計算書の経常収益の10%以上を占めるものがないため、記載を省略しております。

## 【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度（2024年4月1日から2025年3月31日まで）

（単位：百万円）

|      | 報告セグメント |      |     | その他 | 合計  |
|------|---------|------|-----|-----|-----|
|      | 銀行業     | リース業 | 計   |     |     |
| 減損損失 | 259     | —    | 259 | —   | 259 |

当連結会計年度（2025年4月1日から2026年3月31日まで）

（単位：百万円）

|      | 報告セグメント |      |     | その他 | 合計  |
|------|---------|------|-----|-----|-----|
|      | 銀行業     | リース業 | 計   |     |     |
| 減損損失 | 286     | —    | 286 | —   | 286 |

## 【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

該当事項はありません。

## 【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。



# 貸出金（連結ベース）

## 金融再生法開示債権及びリスク管理債権

(単位：百万円)

|                    | 前連結会計年度（2025年3月31日） |           | 当連結会計年度（2026年3月31日） |           |
|--------------------|---------------------|-----------|---------------------|-----------|
| 破産更生債権及びこれらに準ずる債権額 | 4,885               | (0.13%)   | 4,801               | (0.12%)   |
| 危険債権額              | 25,477              | (0.71%)   | 31,842              | (0.85%)   |
| 要管理債権額             | 17,306              | (0.48%)   | 13,908              | (0.37%)   |
| 三月以上延滞債権額          | 151                 | (0.00%)   | 266                 | (0.00%)   |
| 貸出条件緩和債権額          | 17,155              | (0.48%)   | 13,641              | (0.36%)   |
| 小計額                | 47,670              | (1.34%)   | 50,552              | (1.35%)   |
| 正常債権額              | 3,498,792           | (98.65%)  | 3,675,695           | (98.64%)  |
| 合 計 額              | 3,546,462           | (100.00%) | 3,726,248           | (100.00%) |

(注) ( ) 内は貸出金の連結会計年度末残高に対する割合であります。